

今日の説教のポイント<創世記9章8~17節>

①洪水物語のまとめ

今日の箇所、6章の始めから記されて来た「ノアの洪水物語」が終わります。その内容は、聖書全体を理解するにあたってたいへん大事なことが書かれているものでした。それは、以下のことです。

- 1) 洪水によって、世界はそこから新たに始まり直した。つまり、聖書の初めの創世記一章で神様が造られた世界と今の世界をそのまま繋げて考えることは出来ない、むしろ創世記9章で書かれた洪水後の世界の内容が大事になって来る。
- 2) 洪水は罪深い人間を罰せられるものであった。しかし、同時に、洪水が終わった後、神様は、「人間の罪がどんなに重くても、もはや二度と洪水は起こさない」、と宣言された(8:21)。

②洪水後の世界の特徴

創世記9章1~7節で、新たな世界に神様から与えられた新規制は、

- 1) 最初の創造(旧世界)では植物を食糧とすることが許可されていたのに対して(1:29-30)、新世界では肉食も許可された。
 - 2) 命を尊べ。特に、神にかたどって造られた人間の命は重い。
- 一見相矛盾するように思われる二つの規制ですが、罪深い人間が生きて行けるために神様の方から歩み寄って与えて下さった新規制でした。

③虹の契約が意味していること

虹は雨が降った後に出るものです。本当に止むのかと思われた激しい雨。その後に現れた美しい虹を見て、私たちは心安らぎ、また活動を始める思いが与えられます。自然現象としての雨は、たとえどんなに激しく降っても、必ず止む時が来ます。その後に、いつも必ずではないですが、素晴らしい虹を見ることもできます。神様は、私たちが自然現象ではない人間の罪が起す悲惨や苦しみに襲われても、この虹のことを思って、「絶望するな、諦めるな。私が必ずそれを終わらせる時が来るから」と語りかけて下さったのです。ノアはまさにイエス・キリストの予型です。神様はノアによって、全ての被造物(良し悪し関係なく)に再生の道を与えて下さったからであり、新約聖書は神様が御子イエス・キリストによって私たちの罪を赦して下さったことを語るからです。